

広報

# おぐさ

1月

2006 NO.615

「春をよぶ福寿草」自然写真家 鈴木一雄氏

# みんなの 広場

11/30

## 命の大切さ

### 食べ物への感謝

子育てトークとこころ  
ほっかほかコンサート



子育てトークとこころほっかほかコンサートが、十一月三十日、北部小・中学校で開催されました。

これは、北部小・中学校PTAが研修事業の一環で行ったもので、「みんなのうた」で活躍されている南陽市の須貝智郎さんとAKEMIさんが、命の大切さなどの話や手話を交えながら歌いました。途中子どもたち全員がステージに上がって一緒に歌うなど、会場が一体となったコンサートになりました。



12/12

## 子孫繁栄を願う

### 子宝酒の仕込み



大宮子易両神社のオリジナルのお新酒で、子孫繁栄を願った「子宝酒」の仕込みが、十二月十二日、野沢酒造店で行われました。

この日は大宮地域のかたがたや、町内の宿泊施設、飲食店関係者など十団体が参加し、地元産の米とこうじ、清水を使って仕込みを行いました。

なかには、黒米を使って仕込んだものもあり、紅白のめでたいお新酒の出来上がりに期待が膨らみました。

12/4

## ゴールを狙え! 第12回地区対抗 児童フットサル大会



第十二回地区対抗児童フットサル大会が、十二月四日、町民総合体育館で開催されました。

会場では女子選手も男子選手に負けず、一生懸命ボールを追いかけていました。中には延長戦でも決着が付かずPK戦となる場面もあり、応援にかけつけた家族などいっぱいになった会場を沸かせました。熱戦の結果、町岩東地区Aチームが優勝を果たしました。

## —この人に聞く—



やまがたフラワーフェスティバル2005  
金賞 大谷 ひで子 さん

### 丹精込めてストック栽培

10月29～30日、米沢市で開催されたやまがたフラワーフェスティバル2005で、みごと金賞を受賞された大谷ひで子さん（西）にお話をお伺いしました。

「私は、トルコキキョウなど4種類の花を栽培していますが、今回大会に出品したのは、ホワイトアイアンという真っ白なストックという花です。この品種は4年ほど前から栽培していますが、昨年、正月の需要に向けて栽培が可能なようにハウスに暖房設備を入れました。現在、JAおきたまの花弁部会には、小国で3農家が加入していますが、出荷の時期などを合わせ、半端な本数は持ち寄って、少しでも無駄にしないように出荷しています。栽培している間は、温度管理や水やりなど毎日作業がありますので、家族で出かけるなどということはできませんが、急用の時は部会の仲間で助け合っています。たくさんの方が花の栽培に取り組み、仲間が増えるといいです。」



12/12

### 心に響く音のメッセージ 福田直樹 ピアノコンサート

財団法人松坂世紀記念財団と町教育委員会が主催する、福田直樹ピアノコンサートが、十二月十二日、おぐに開発総合センターで開催されました。日本を代表する新鋭ピアニスト福田直樹さんが、ピアノとチェンバロを使い、モーツァルトやヴィヴァルディの透き通った美しい響きを奏でました。クリスマスツリーが飾られた会場では、来場した子どもたちや町民が、心のこもった音のメッセージに魅了されました。



12/17

### 小国の食文化を学ぼう 食文化体験学習講座

食文化体験学習講座が、十二月十七日、おぐに開発総合センターで開催されました。これは、小国の食文化や「食」と「農」について学ぶ生涯学習の取り組みとして今年度初めて実施されたもので、今回開催された一回目は、樽口の米野岩根さんを講師に招き、そば打ち体験が行われました。参加者の多くは、そばを打つのが初めてで、米野さんに何度も指導を受けながら、真剣な表情でそばを打っていました。



新春インタビュー

# 2006 まちづくりの主役たち

あけましておめでとうございます。

新年を迎え、新たな決意を胸に過ごされていることと思います。

今月の特集では、それぞれの立場で強い意欲を持って、まちづくりに活躍されている五人の方に、新たな取り組みへの挑戦などについてインタビューしてみました。

## 渡邊拓磨さん（樽口）

自分が育てたシイタケはめんこいです！

町の補助制度を利用して、シイタケのハウス栽培を行っている。フラビのシーズンには観光フラビ園の運営に積極的に参加、樽口地区において将来を期待されている一人である。

友達を樽口に連れてくると、みんな「ここはジャングルみたいだ」とか「こんなところに住んでいるのか」と言われますが、私には、これが普通で、この自然や環境が最高に大好きです。

シイタケの栽培は昨年からはじめましたが、マイタケやタモギを栽培している父でも全く経験のないことでしたので、マニュアルを読んだり、町内で栽培している方に聞いたりしながらの試行錯誤でした。

ハウスにはヒーターを入れ、雪の多い樽口の冬でも栽培ができるようにしていますが、少しの温度差で菌床にカビが

出てきたり、シイタケはとても繊細なものです。

初めてシイタケが顔を出し、それを口にしたときの感動は今でも忘れられません。とても肉厚でシイタケのステーキは最高です。ですから、皆さんには最高の状態のシイタケを食べていただきたくて、少しでも薄かったり形の悪いものは出荷したくありません。

めんこくて仕方がない自分のシイタケは、きれいに並べて売ってあげたくて、今は規格外のものが無駄になっています。

今現在は富富（とむとむ）という青森県から購入した、五、〇〇〇個の菌床で栽培をしています。今年も、少しずつ自分で培養もしていきたいと思っています。

小国で一番初めに観光ワラ



渡邊拓磨さん

ビ園を造成した樽口地区は、シーズン中たくさんの人で賑わいます。友達からは、ワラビ園の次はシイタケ狩りをしたらいいんじゃないかとよく言われますが、今は、実績を積んで、この標高、この気候この空気、私が育ったこの樽口の全てが育てたおいしいシイタケを、たくさんの方に小国のブランドとして認知してもらいたいことを最優先に考えていきたいです。



渡邊さんが育てた肉厚のシイタケ

## 新野伸子さん (小国小坂町)

旦那様の出身地である小国町に住むようになり、喫茶店



新野伸子さん

「日常茶飯美」の料理を担当。雑穀料理を独学で学び、新しいメニューづくりや、雑穀料理の普及に取り組んでいる。

出身は埼玉県で、小国に来る前は東京に住んでいましたが、六年前に、田舎暮らしをしてみたいと思い旦那の出身地小国町に引っ越してきました。内心は、雪のことや、人口が少ない小国町で、人の輪に入っていくのかどうかとても不安でした。

そんなとき、今のお店を作る話もちあがり、おとし、仲間で出資してようやくこの「日常茶飯美」が完成しました。内装やインテリアなどほとんどが手作りです、仲間の一人が描いた樽口峠も、一層雰囲気を出してくれています。雑穀との出会いは、お店を

オープンしてから半年後くらいのことです。知り合いのすすめで「五穀の会」に入り、少しずつ勉強しました。初めは、ご飯に混ぜて炊く程度しかできませんでしたが、レシピを見たり、自分で試してみたりして、今では数え切れないほどの種類の料理を、お客様に提供することができるようになりました。

雑穀というと「米がないときに食べたもの」というイメージをもっている方もいるようですが、最近では食の安全、安心が全国的にも話題になり雑穀料理も注目を集めていますので、私なりの料理のレシピを作ったり、料理教室などを開いて、多くの町民の方に雑穀のよさを広めていくことが今年の目標です。

町内には「もつと小国を活性化させたい」「小国はこんないいところなんだ」と思っている方がたくさんいます。昨年、小国をもつと元気にしようとして「おも白い森」という若者のグループが結成されましたが、私もそうしたかたがた

と一緒に、雑穀だけでなく、新しい取り組みに挑戦しながら、魅力あるまちづくりを進める一員として活動していきたいと思っています。



樽口峠の絵が描かれた店内

## 藤井拓馬さん(岩井沢) 中心商店街に賑わいを!

小国町中心商店街区賑わいづくり懇話会の若手会員として期待されている。アスモを中心とした商店街づくりに精



藤井拓馬さん

力的に取り組んでいる。

私が勤務する、協同組合小国ショッピングセンターは、アスモ一階フロアのテナント料などで運営されており、アスモで行う売り出しの企画運営から、施設の維持管理などを行っています。

今、中心商店街は、人口の減少や町外への買い物客の流出などにより、売り上げが下っているという大変厳しい現状にあります。このため、商店街を賑やかにしようと、昨年五月に「小国町中心商店街区賑わいづくり懇話会」を設立しました。この懇話会では、「まちなか」というテーマから「まちなか製品の発掘・まちなか市の開設」、「まちなかマップング」、「まちなかパーク構想」の二つの柱に沿って、班毎に調査・検討を進めています。これまで、業者だけで話し合いをもつことはよくありましたが、この懇話会では、金融機関や行政、教育関係者、主婦などさまざまな視点から検討を重ねています。

自分もメンバーの一員となっている「まちなかマップング」班では、町中心部を流れる横川を資源として活かしていこうと、散策コースや芋煮会の会場、神社仏閣、文化財などを盛り込んだ地図づくりを検討しています。

また、中心商店街の顔となるアスモ内の店舗では、宅配サービスやレジ袋を減らす運動など、それぞれに工夫を凝らしながら、小さなことから取り組みを始めています。こうした取り組みを一部の店舗だけでなく、連携して行っていくことで、買い物が無くても気軽にご来店いただけるような雰囲気をつくりながら、商店街の賑わいを創出していきたいと考えています。



自由に休むことができるアスモ内のくつろぎコーナー

## 舟山葉子さん（若山）

地域とともに育っていききたい！



舟山葉子さん

子育て支援センターや出前の子育てサロンを活用しながら、家事や子育てに奮闘している専業主婦。地域の活動をとおして地域とともに子育てをしていきたいと考えている。

結婚してすぐ専業主婦になり、今、一才八ヶ月の子どもがいます。姉にはよく「ずっと家に入れていーねー。」と言われませんが、専業主婦は、予想以上に大変な仕事なのです。日中は、ほとんど子どもと二人きりで、家族の食事や弁当づくり、洗濯、掃除と休む暇がありません。

子どもが四ヶ月になったとき、町に子育て支援センターがあることを知りました。まだ他の子どもと遊ぶこともできませんでしたが、「あそびの広場」や「なかよし広場」に参加してみました。近所には同じ年代の子どもがいないので、センターに行くと、他の子どもがしていることを真似して覚えたり、家族以外の人と交流することに少しずつ慣れてきているようです。

子育てに関する本などをよく読みますが、それがほんとは正しいのか、一番いい方法はどれなのか、一人で悩むことがよくあります。また、同年代の子どもとの成長の違いについても心配になることがあります。子育て支援センターに行つて、お母さんたちや先生と話をすることで、不安が解消されています。今は、週二回約一時間半の交流ですが、一緒に食事をしたりもう少し長い時間の日があるといふなど感じています。

昨年、地元の公民館で、「子育てサロン」が開催されまし



歌や人形を使った紙芝居、遊具を使って交流する「あそびの広場」

た。一緒に参加した、毎日孫の面倒を見ているおばあちゃん方とお話をするのができ、知り合いになることができました。自分だけで子育てをするのではなく、地域の皆さんに支えられ、家族や地域と一緒に子育てをしていく大切さを実感しました。私も主婦の立場で、地域の一員として頑張っていきたいと思えます。

## 杉山秋彦さん

(小国小坂町)

地域に密着した活動を  
目指します！

小坂町体育協会は、組織体制の大幅な若返りを図り、エネルギーあふれる地域づくりに取り組んでいる。現在最年少の体育協会長。

小坂町体育協会では、時代の流れとともに地域住民と体育協会のかかわりが薄くなり、協力してくれる方も年々少なくなってきました。このため昨年の春、役員や組織を見直して、役員全員を三十代以下にし、私が会長という役目を引き受けることになりました。初めは、これまでの歴史ある体育協会をほんとうに運営しているのか不安でしたが、まず一番初めに、地域のかたがた全員に小坂町体育協会の内容を知ってもらおうと、「体育協会だより」を発行することにしました。これは大会ごとに発行し、大会の結果、選手、協力してくれた方はもち

ろん、次回の行事の予定やスポーツに関するコラムなども掲載しています。自分の名前が掲載になることもあり毎回楽しみにしてもらっています。経費の節約も工夫しています。

サマースポーツでは、今までお弁当などを買って選手に配っていたものを、地域の皆さんに協力していただいて、その場で焼きそばを作ってもいい、節約した分子どもたちの慰労会をしてあげることができました。選手ではなくても応援や準備にたくさん協力してくれる人が増えて、地域みんなで体育協会を運営しているという実感が芽生え始めています。

もう一つの新たな取り組みとして、大会の選手には、一人一人委嘱状を交付していま



杉山秋彦さん

これからは、町体育指導員の協力を得て、誰もができる生涯スポーツのようなものを実施していきたいと考えています。また、役員や一部の方だけでなく、地域みんなの体育協会なので、自分の家族が出場していなくても応援に来たり、慰労会に参加できるような雰囲気づくりに取り組んでいきたいと思えます。



サマースポーツ大会小坂町チーム陣地

# 雄大なダム提体の姿

〜横川ダムロの現場から〜

降雪期に入るため、昨年12月1日に、本年度のコンクリート打設を終了。昼夜体制で工事を進めてきた本体のコンクリート総打設量は、21万7千立方メートル、高さは約60.5メートルに達し、雄大なコンクリートダムが姿を現しました。

# 全国の先駆的モデル農村に選定

〜立ち上がる農山漁村〜

政府の食料・農業・農村対策推進本部（本部長：小泉純一郎首相）は、十二月八日、「立ち上がる農山漁村」有識者会議において、平成十七年度のモデル的な農村、三十事例を選び、その一つに本町を選定しました。

有識者会議は、地域の経済活性化と地域雇用の創造に向けて自律的に取り組んでいる先駆的な事例を「立ち上がる農山漁村」として選定し、全国に発信、奨励することにより、意欲ある取り組みの推進を図っていきます。

今年度は、全国から百二十八事例の応募があり、国民宿舎飯豊梅花皮荘やイワ

ナ養殖場、観光ワラビ園などを整備しながら、山菜、キノコ、イワナといった地域資源を活用し、山間地における所得向上と雇用に結び付けた本町の山村総合産業創出の取り組みが評価されました。



地域の食材を提供する国民宿舎飯豊梅花皮荘

## 堤体近くに見える施設



堤体の下に発電所の基礎が姿を現しました。その右上には、発電所に送水する管が見え、太さは中にダンプトラックが入る程です。

右の建物で現場内の濁水を絞って泥と水に分け、なるべく再利用します。



管理用船舶を湖へ下ろすインクライン。貯水池の巡視、水質調査などに使う船を載せるエスカレータのような施設を作り始めています。



## 平成17年国勢調査の

## 結果をお知らせします



平成17年10月1日に実施された「平成17年国勢調査」の人口と世帯数に関する結果が山形県から公表されたのでお知らせします。

調査へのご協力ありがとうございました。

(単位：人)

調査年	人 口			世帯数	対前回調査比	
	男	女	総 数		人口	世帯数
平成 7 年	5,223	5,492	10,715	3,163	-5.3%	-1.7%
12年	5,030	5,232	10,262	3,209	-4.2%	1.5%
17年	4,801	4,941	9,742	3,277	-5.1%	2.1%

# 12月定例議会

12月定例議会が、12月8日から13日まで開催されました。今回の議会では、平成17年度各会計補正予算のほか、指定管理者の指定など20議案が審議され、原案どおり可決されました。

## 一般会計に六千三百四十八万八千円を追加

平成十七年度一般会計に、六千三百四十八万八千円を追加し、補正後の予算総額は、五十六億六千三百九十六万八千円となりました。

このほか、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計、病院事業会計で、医療費給付に係る費用や、薬品、診療材料に係る費用をそれぞれ追加しました。主な内容は次のとおりです。

### ●燃料費を追加

燃料単価の高騰に伴い、除雪車及び庁用車のほか、庁舎保育施設、学校施設、葬祭場などそれぞれの施設の暖房用燃料費などを追加しました。また、ゆーゆ、スキー場にかかる燃料費分として、その委託料などを追加しました。

### ●幹線排水路を改修

ここ数年の豪雨による異常出水により、たびたび農地及び町道の冠水被害が発生している、小玉川地内の道子沢地区幹線排水路の改修を行うことにしました。

### ●学校統合に係る準備経費用を追加

来年四月から、玉川中学校と小玉川中学校を小国中学校に統合することとし、その準備を進めています。

このため、生徒の登下校時の送迎用車両を確保することにしたほか、制服等の変更に伴い、その購入費を助成することにしました。

## 十三施設について指定管理者を指定

五味沢農村公園など、町内十三の農村生活環境施設について施設の設置目的を最大限發揮するため、それぞれの施設がある地区の自治組織を指定管理者として指定しました。

## 人事行政状況を公表

人事行政の透明性を高め、公正な運営を確保するため、職員の給与や職員数、勤務条

件等の公表を行うこととしました。平成十八年三月に公表予定です。

## 議員定数を削減

議会における自立の町づくり特別委員会の調査結果を受けて、議員定数を現行の十六から四減の十二とする、議員の定数に関する条例の一部改正が議員発議で提出され、可決されました。

この条例は、次の一般選挙から適用されることとなります。



昭和54年より、小国町議会議員を7期26年余の長きにわたり務められた、遠藤和壽さん(平成17年9月28日死去)に、正六位、旭日双光章が授与されました。

長年の地方自治に対する功績が称えられたもので、12月定例議会においてご遺族の遠藤和彦さんに贈られました。

# 新年を迎えて

小野 精一



新年明けましておめでとう  
ございます。皆さまにおかれ  
ましては、穏やかな新春をお  
迎えることとお喜び申し上げ  
ます。

地方自治体を取り巻く環境  
は、三位一体改革の推進や、  
少子・高齢社会の急速な進行  
に伴い、依然として厳しい状  
況が続いております。こうし  
た中で、昨年は、水源の郷交  
流館の整備や、食の文化・産  
業づくり、ファミリースポー  
トセンターの開設をはじめと  
する福祉のまちづくりの推進  
など、「活力と魅力あるまちづ  
くり」の施策を展開してまい

りました。

さて迎えた新年は、行財政  
改革の重点的な推進を図りな  
がら、「自立を可能とするまち  
づくり」を基本に、各種施策  
の展開をはかり、「白い森の  
国」づくりに邁進してまい  
ります。

特に、全国に先駆けて調査  
研究を進めている「森林セラ  
ピー」については、森林の持  
つ多様な機能を活かしながら、  
本町全域を森林セラピー基地  
として新たな産業創出に向け  
た事業展開を図ってまいり  
ます。

また、今年で最終年を迎え  
る小中高一貫教育の研究開発  
については、特色と魅力づく  
りを一層進め、望ましい方向  
性を示す総仕上げに取り組ん  
でまいります。

どうぞ、町民の皆さまをは  
じめ、関係各位には、まちづ  
くりにも更なるご理解とご支援  
を賜りますようお願い申し上  
げ、新年のあいさつといたし  
ます。

## 癒しの園 シリーズ 21

### 健康考話

町立病院看護師長  
野澤美恵子



#### 病院の

#### 上手なかかり方

新年あけましておめでとう  
ございます。

今回は、「病院の上手なかか  
り方」についてお話しします。

一、なんとと言っても平日・日  
中の受診がおすすです。各  
専門分野(消化器内科・消化器  
外科・産婦人科・小児科・整形  
外科・呼吸器内科)の医者がい  
ます。ただし、毎日診療してい  
るわけではありませんので、詳  
しくは町立病院にお問い合わせ  
下さい。また、看護師・検査  
技師・放射線技師・理学療法  
士・作業療法士などスタッフも  
充実し、迅速で幅広い対応が  
整っています。

二、もちろん、緊急の場合は

いつでも対応します。具合が悪  
いと思ったら早めに受診しま  
しょう。

三、診察を受けるときはメモ  
を上手に活用してください。特  
に定期的に通院している方は、  
日頃疑問に思っていることや不  
安になったこと、体調の変化な  
どをメモして、診察の時、医師  
に質問したりして伝えましょ  
う。

四、納得できないことや、わ  
からないことがあったら、遠慮  
せずに質問をしてください。お  
互いの間に少しでも不信感が  
あると良い治療や看護はでき  
ません。より良い信頼関係を  
築くことが大切です。

五、健康に自信のある方も、  
定期健康診断で健康チェック  
をして下さい。健診・ドックな  
どで要精検といわれた方は、必  
ず二次検診を受け、病気の早  
期発見と予防に努めましょう。

町立病院では、町民の健康  
を第一に考え、毎日の診療に  
あたっています。平成十八年が  
皆様にとって健康で幸せな年  
になりますようお願いいたし  
ます。

## 「白い森おぐに」 食文化体験学習講座

■日時 1月14日(土) 9:10~12:00

■場所 総合センター

■内容

◇講話

～在来野菜の復活・伝統食の掘り起こし～  
講師：遠藤孝太郎氏（長井市）

◇体験学習

～昔のおやつ「からこ」・「かき餅」作り～  
講師：齋藤以智子氏（石滝）

■対象者 一般の成人のかた

■定員 10名

■参加費 無料

■申込期限 1月10日(火)

■申込・問合せ先 教育委員会事務局へ



## 参加者募集

# アルペンスキー教室



■日時 1月21日(土)から2月18日(土)までの期間

で、毎週土曜日（計5回）

午後1時30分～3時30分

■場所 横根スキー場

■対象者 小学生および保護者のかた（低学年の児童は、保護者同伴となります）

■定員 低学年30名、高学年10名

※予定人数を越えた場合は、抽選となります。

■受講費 無料（ただし保険料として小学生500円、保護者1,500円を要します）

■受付期間 1月5日(木)午前9時～17日(火)午後5時

■申込方法 申込書に必要事項を記入して、町民体育館へ申し込んでください。

■申込・問合せ先 町民体育館へ

## 募集

### 町営住宅等の入居者募集

■勤労者住宅

▼小坂町1号棟B103、B303 2K 2戸

（家賃三万三千元）

▼岩井沢203 3DK 1戸

（家賃四万二千元）

▽対象 小国町に勤務されているかた

■募集期間 1月5日(木)～12日(木)

■入居時期 2月上旬

■敷金 家賃の3カ月分

■申込・問合せ先 地域整備課へ

### 小国福祉会職員募集

高齢のために、日常生活に介護が必要なかたをお世話する仕事です。

■職種 介護員

■募集人員 若干名

■対象者 高校卒業（見込を含む）以上で、介護福祉士、ヘルパー2級以上（取得見込を含む）の資格を

持っているかた、および通勤ができ、夜勤が可能なかた

## 催し

### 冬の健康づくり教室

■日時 1月11日(火)

午前10時～12時

（1月から2月の期間で計6回開催）

■場所 温泉健康館ゆ〜ゆ、健康管理センター

■内容 アクアビクス、バランスポールなど

■講師 快フィットネス研究所 小池敏子氏

■申込・問合せ先 健康福祉課へ

### 男性の料理教室

■日時 1月26日(木)

午前10時～12時30分

■場所 健康管理センター

■内容 魚を使った料理作り

■対象者 男性のかたならどなたでも参加できます。

■参加費 材料費三百円

■申込期限 1月24日(火)

■申込・問合せ先 健康福祉課へ

## ご案内

### 置賜広域行政事務組合 指名競争入札参加登録申請

平成18年度に行う建設工事設計測量コンサルタント、物品納入および役務提供の指名競争入札参加の登録申請（隔年制のため追加登録のみ）を受け付けます。

■受付期間 2月1日(火)～28日(火)

■申請方法 電話または郵送（当日消印有効）で申請してください。

※詳しいことは、12月15日号の「広域広報おきたま」または組合ホームページ(<http://www.okikou.or.jp/>)でもお知らせしています。

■申請・問合せ先 〒992-0012 米沢市金池三丁目1-55 置賜広域行政事務組合総務課庶務係 ☎ 0238-23-3246 へ

### パソコンボランティア派遣制度

在宅の身体障害者のかたにパソコンボランティアを派遣して、パソコン利用のサポート

# お知らせ

## 総合センター図書室から

開館時間 午前9時30分～午後6時

### \*\*\*新刊図書\*\*\*

- ◆バケツ 北島 行徳
  - ◆東京奇譚集 村上 春樹
  - ◆若草姫 高橋 義夫
  - ◆風の盆・幻想 内田 康夫
  - ◆女という病 中村うさぎ
  - ◆憑神(つきがみ) 浅田 次郎
  - ◆地震のすべてがわかる本 土井 恵治
  - ◆ヴィッキー・エンジェル ギャクグリーン・ウィルソン
  - ◆トム・トム・プー シリーズ キヨノ・サチコ
  - ◆クリスマス・オールスター 中川ひろたか
- ※ほか多数入荷しました。

### 今月の休館日

1月1日(日)～4日(水)・9日(祝日)

トを行います。  
派遣を希望するかたは、利用登録が必要です。また聴覚障害者のかたには、手話奉仕員、要約筆記奉仕員も併せて派遣します。土日、祝日、夜間の利用も可能です。

■利用申込日時  
希望日の1週間前まで  
月曜～金曜日の午前9時～午後5時

■問合せ先 山形県身体障害者福祉協会(☎023-686-3690)へ

### 子育て支援センターから

#### ▽『あそびの広場』

■日程 1月17日(火)、24日(火)子育て講座(簡単おやつ作り)、31日(火)、2月7日(火)

■時間 10時～11時30分

■場所 健康管理センター

#### ▽『なかよし広場』

■日程と場所  
▼1月19日(木)、2月2日(木) 総合センター

▼1月26日(木)、2月9日(木) おぐに保育園

■時間 10時～11時30分

#### ▽『ごども愛ランド』

■日程 1月14日(土)

■時間 9時30分～12時30分

■内容 健康管理センター親子でクッキー作りと、大型かるた遊び

※詳しいことは、子育て支援センター(☎62-2330)へ

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
山和建設(株)	4人	土木施工管理技士、土木作業員	18～55	8:00～17:00
(株)齋藤建設	1人	土木施工管理技士	不問	8:00～17:00
(株)横川建設	11人	土木施行管理技士、重機オペレーター、土木作業員、廃棄物処理作業員、解体および廃棄物処理の営業、運転手	不問	8:00～17:00
伊藤総建	1人	土木作業員	不問	8:00～17:00
大河内産業(有)	5人	事務員、運転士	不問	8:00～17:00
(株)井上製作所	2人	マシンオペレーター	18～30	8:30～16:45ほか
猪野電気工事(株)	2人	電気工事	18～35	8:00～17:00
ハイコー(株)	2人	電気工事	18～40	8:00～17:00
(有)ヤオコー	5人	検査工、組立工	20～50	8:15～17:00
ひさご電材(株)小国工場	2人	電線製造工	20～45	8:30～17:30
舟山鉄筋	1人	鉄筋加工	不問	8:00～17:00
(有)小国技研	4人	洗浄工	30～65	8:00～17:00
(株)グリーンセキュリティサービス下越支社	10人	除雪作業員	不問	6:00～14:00
ヤマト運輸(株)長井営業所	2人	セールスドライバー	20～40	8:00～17:00
翔礼交通(株)	5人	バス運転手	不問	9:00～18:00
東芝セラミックス(株)小国サイト	1人	製造技術開発	～35	8:30～17:10
日本重化学工業(株)小国事業所	5人	技術員、研究員、製造工	18～34	8:15～17:15
(株)シーテック山形営業所	2人	機械設計	不問	9:00～17:45
朝日生命保険相互会社長井営業所	5人	保険営業	25～55	9:10～16:50
(株)山形銀行小国支店	1人	一般事務	30～45	9:00～17:00ほか
アベプランニング	2人	サービススタッフ	不問	8:00～17:00
(有)コンソカンパニー第一ホール小国店	2人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
おぐに白い森(株)	13人	応接、調理補助、スキー場リフト乗客誘導、出札係	不問	9:00～19:00ほか
小国食糧(株)	1人	販売員	18～45	9:30～18:30
(有)蔵王ストア	2人	店員	不問	8:45～18:00
ファミリーマート小国町店	1人	店員	不問	16:00～21:00ほか
社会福祉法人 白百合保育園	2人	保育士	不問	8:30～17:00
医療法人社団 緑愛会 介護老人保健施設かがやきの丘	23人	介護職、介護支援専門員、支援相談員、看護師、准看護師	不問	8:30～17:30

## 求人情報

左の表は、12月19日現在の新規求人の内容です。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報は、ハローワーク長井(☎84-8609)へ

### 小国町介護老人保健施設 温身の郷 介護員募集

- 職種および募集人員 介護職 5名
- 対象者 高校卒業以上の学歴を有し、18歳以上おおむね40歳までのかたで、夜勤が可能なかた(資格不問)
- 雇用期間 2月1日から3月31日以降は1年契約の日々雇用(社会保険完備)
- 就業時間 午前8時30分から午後5時または4交代制の変則勤務
- 提出書類 履歴書(顔写真貼付)およびハローワークの紹介状
- 受付期限 1月16日(月)必着
- 受付時間 午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く)
- その他 詳しいことは、問い合わせてください。
- 申込・問合せ先 小国町介護老人保健施設 温身の郷(☎61-1200)へ



## 相談

### 年金相談

- 日程 1月18日(水)
- 受付 10:30~14:30
- 場所 役場町民相談室
- 問合先 町民課へ

### 人権相談

- 日時 1月20日(金) 10:00~12:00
- 場所 総合センター
- 相談員 人権擁護委員1名
- 内容 人権に関すること
- 問合先 町民課へ

### 無料出張法律相談

憲法制定60周年・民事法律扶助法施行5周年を記念し、山形県弁護士会主催の法律相談会を開催します。

- 日時 1月31日(火) 10:00~15:00
- 場所 総合センター
- 問合先 町民課へ

### にこにこ相談

- 日程 2月7日(水)
- 場所 置賜生涯学習プラザ(長井市)
- 対象 幼児、児童、生徒とその保護者のかた
- 内容 子どもの発育に関する相談
- 費用 無料
- 申込受付期限 1月24日(火)
- 申込・問合先 県教育センター相談受付  
専用電話(☎023-654-6060)へ

### 被害者支援センターやまがた

- 相談窓口開設日時  
毎週火曜日、木曜日、第1土曜日  
10:00~16:00
- 対象 犯罪や交通事故などの被害者とその家族のかた
- 相談電話番号 023-642-7830
- その他 専門家による面接相談も行っています。(予約が必要です)
- 問合先 「被害者支援センターやまがた」事務局(☎023-642-3571)へ

### 保健カレンダー

月日	乳幼児健診	受付時間	対象	場所
2/22	2歳児歯科健康診査	13:00 }	15年6月~8月生まれ	※持ち物 健康管理センター 母子健康手帳、問診票 (4カ月児、1歳児健康診査は除く)
2/24	4カ月児健康診査		17年10月生まれ	
	1歳児健康診査	17年2月生まれ		

■問合先 健康福祉課へ

### 国民健康保険からのお知らせ

## ご存知ですか? 高額療養費貸付制度

医療費の自己負担額が高額になったときには、高額療養費の払い戻しが受けられます。自己負担分の支払いが困難な場合には、高額療養費支給見込額の8割を無利子で貸付する制度があります。

#### ■手続きに必要なもの

医療機関からの請求書、国民健康保険被保険者証、印かん

■問合先 町民課へ

## 緊急! 温風暖房機の回収・点検等を行います

経済産業省より松下電器産業(株)製のFF式石油ファンヒーターによる一酸化炭素中毒事故の発生に関する緊急命令が発動されました。同社製のFF式石油ファンヒーターのうち、同様の事故が発生する恐れがある25製品について、製品の無料点検、部品交換または、要望に応じ1台当たり5万円で引取りを行います。

対象となる製品の確認など、詳しいことは松下電器産業(☎0120-872-773)へ問い合わせてください。

## 平成18年度 小国町農業委員会委員選挙人名簿登録申請の受付を行います

次の要件を満たすかたは、各地区の農業振興組合長または農業委員会事務局へ登録申請書を提出してください。なお、新たに申請するかたは農業委員会事務局へ問い合わせてください。

#### ■資格要件

- 平成18年1月1日現在小国町内に住所のあるかたで、10a以上の農地を耕作しているかた、およびその同居の親族またはその配偶者で、年間60日以上耕作日数を有するかた
- 平成18年3月31日において満20歳以上のかた

■提出期限 1月7日(土)

■問合先 農業委員会事務局(産業振興課内☎62-2111)へ

## 戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

小国小坂町 塚原 彩果 (昌裕  
チャレンジャー)

兵庫館藤坂 真実 (嘉信  
みのり)

兵庫館藤坂 臨 (嘉信  
みのり)

太鼓沢安部 滯 (誠  
由美)

結婚おめでとうございます。

(町原 堀 三 洋  
山形市 阿部 弥 生)

(若山 木村 寿 人  
大石田町 柴田 亜沙美)

おくやみ申し上げます。

兵庫館 深瀬 孫右エ門 (81)

北 今 すい子 (90)

泉岡 小池 あつひ (87)

樽口 米野 留男 (83)

幸町 佐藤 秀雄 (77)

小国小坂町 佐藤 トミ子 (83)

沼沢 横山 みさほ (96)

小国小坂町 本間 エツミ (67)

小渡 金 とら (91)

白子沢 二馬 一郎 (90)

舟渡 塚原 京子 (50)

### 人口のうごき

人口 男 … 4,799人(-5)

女 … 5,059人(-4)

計 … 9,858人(-9)

世帯数 3,296世帯(-2)

平成17年11月30日

### 公的年金等の源泉徴収票を交付します

老齢年金等を受けているかたがた全員に「公的年金等の源泉徴収票」を1月末日までに送付します。(障害年金や遺族年金だけを受給しているかたは除きます) 町県民税の申告に源泉徴収票を添付していただきますので、紛失しないよう大切に保管してください。

■問合先 町民課へ

### 小国町指名競争入札

参加申請  
の受付

町が行う建設工事、設計測量コンサルタント、物品納入などの指名競争入札参加を希望するかたは、次のとおり申請してください。

■受付期間 2月1日(水)～28日(火)

■受付時間 午前9時～12時 午後1時～4時

■有効期限 平成18年度

■その他 今回の受付は、町内業者のかたのみです。必要書類などの詳細については、電話で確認してください。

■問合先 地域整備課へ

### ホームページを開設しました

小国町観光協会のホームページを開設しました。

小国町の観光、物産、イベント等の情報を全国に広く発信していきます。

みなさまのアクセスをお待ちしています。

ホームページアドレス <http://ogunikankou.jp>

■問合先 小国町観光協会 (☎62-2111) へ

### 1月10日は「110番の日」

ー 急ぐほど 正しく はっきり 110番 ー

■すばやい通報が犯人検挙につながります

事件や事故を見たり聞いたりした場合は、すぐに110番をしてください。

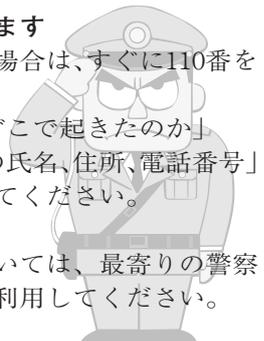
- 「何がいったのか」
  - 「いつ、どこで起きたのか」
  - 「事件や事故の内容」
  - 「通報者の氏名、住所、電話番号」
- など係員の質問に落ち着いて答えてください。

■110番は緊急電話です

急を要しない相談や照会などについては、最寄りの警察署または警察本部の総合相談電話を利用してください。

●小国警察署 ☎62-0110

●相談ダイヤル ☎023-642-9110 ☎#9110 (プッシュ回線)



体育協会設立五十周年記念

シリーズ  
健康・体力づくりのあゆみ

第四十七回国民体育大会（べにばな国体）秋季大会の山岳競技が、飯豊連峰を主会場として、平成四年十月に開催されました。山形県チーム、そして小国出身の選手が活躍した陰には、町体育協会が大きな貢献を果たしました。

今月は、山岳競技の選手として活躍された、寒河江純さん（岩井沢）に思い出をお伺いしました。

「無我夢中で練習に励みました」

べにばな国体に出場した当時私は、小国高校の三年生でした。県内各校から選抜され



寒河江 純さん



縦走競技（10月6日） スタート直後の山形県チーム。右側の選手が寒河江さん。

出場し足を引きずりながら完走したこと覚えていません。三年生になると、飯豊町にある合宿所を拠点に強化合宿に入り、厳しい練習と学校の授業とを両立させることはとても大変なことでした。

地元で開催されるということ、「優勝して当たり前」というプレッシャーはありました。それが無我夢中で練習してきた自信が不安を打ち消し競技することが出来ました。

た国体強化チームが編成され、陸上部に所属していた私も、一年生の時からその一員に選ばれ国体優勝を目標にかかげ練習に励みました。二年生の時には遠征で行った神戸市開催の六甲山縦走大会（五十六キロメートル）に

結果、優勝につなげたことは共に厳しい練習に耐えたチームの仲間、監督やコーチはもちろん、支えてくださった、たくさんの方々のおかげです。あの時の経験が私の体力と精神力を培うことができて、現在の消防士の仕事に生かされています。

先月号で紹介した文化の日常年勤続表彰の「藤田和雄」さんは、「藤田和男」さんの誤りでした。お詫びして訂正します。

編集室から

大地は一面真っ白で、まさに「白い森の国」となりました。小国に雪が降るのはあまりまえのことで、この光景も見慣れていたはずですが、ふと窓の外を見たとき、美しい水墨画を見ているような感覚になります。雪をかぶりながらも、真っ赤に実ったナナカマドの実が、そこに彩りを添えていました。私もこの実のように、皆様の心に彩りを添えられるような広報をお届けしたいと思います。（舟山）

表紙の写真

表紙の写真「春をよぶ福寿草」を撮影された自然写真家、鈴木一雄さんは、福島県出身で、日本各地の風景を鮮烈な映像で発表されています。今年、小国町内の美しい自然がぎゅっと詰った写真集が発表されると同時に、東京・仙台・栃木で写真展も行われる予定です。